



## 雨・遅刻・笑顔

昨日は蒸し暑くて、いよいよ梅雨が近づいてきた感満載であったが、気づけば今日から6月で、しかも雨降りの月初めとなった。

「雨が好き」というそのものズバリのタイトルの本がある。著者は高橋洋子さんという女優さんであるが、私も休みの日なら「雨が好き」である。フラフラと遊びに出かけたい気分が起きずに仕事に集中できるし、そもそも窓や屋根に当たる雨の音も好きである。小降りなら、濡れても構わない格好で散歩するのもなかなか楽しい（…って、仕事に全然集中していないわけだが…笑）。

\*

遅刻防止週間は、なんとか無事に乗り切ったが、そもそも成績会議の際に、遅刻や欠席が多い生徒は報告することになっていて、「遅刻何回以上の生徒」という基準がある。で、学年としては、その基準に近づいている生徒に関しては、防止週間とかそういうこととは別に呼び出して、改善に向けての方向を考えることにしたので、つまり（簡単に言うと）呼び出して指導することにしたので、各自自分の生活を振り返って、遅刻することのない生活リズム（パターン）を作るように。遅刻は、社会人になっても人間性を判断する一つの基準となる。事情がある場合は仕方ないが、日常的に遅刻をするということは、個性でも何でもなく、ただだらしなだけである。そのことをきちんと認識すること。

\*

2階の大職員室と3階の国語科との間を歩き来する際は、25Rの教室を覗くという目的もあって、23R前の階段から2階に降りてし

まうのではなく、25R前→図書館前→13R～15R教室前を通して、家庭科室のところの階段から2階に降りる。そうすると多くの1年生と顔を合わせるのだが、例えば、朝、こちらから「おはよう」と声をかけると、

- ①無視する（これはほぼいない）
- ②頭だけ下げる（20%）
- ③表情を変えず「おはようございます」と返してくれる（50%）
- ④笑顔で「おはようございます」と返してくれる（30%）

といった感じか。

で、これは、私にしてみればもちろん④が気持ちイイに決まっているのであるが、相手の生徒にしてみても、④は気持ちイイのではないだろうか（気持ち悪かったりして…）。電車の中で席を譲ると、譲られた方もうれしいが、譲った方だって、満更でもない気分になるでしょ。

挨拶された時に、ちょっとでも微笑むというのは、やはり人間関係を築いていく基本だと私は思う。こういうことが自然にできると、世の中のギスギスもだいぶ改善されるのではないかと思うのだがどうだろう。

私は、よくニコニコ（ニヤニヤではない！）していると生徒から言われるが、基本「笑う門には福来たる」を実践しているのである。家に帰っても、「福来たる」というよりは、同居する危険な存在からの「災いを遠ざける」という意味合い（笑）で、なるべくニコニコするようにしている。その効果は、ますます上がっているのではないかと踏んでいる。